

若い世代の皆さんへ

◆◆◆ 正しく知ろう 新型コロナワクチン ◆◆◆



若い世代の感染者数が増えています!!

下野市の4月以降の月別新規感染者数は、8月12日の時点で、8月が最多となっています。割合で見ると20代(36.4%)や10代(15.2%)の若い世代が多く、全体の5割強を占めています。

8月以降、感染拡大がこれまでにないスピードで続いています。特に、デルタ株のウイルスは感染力が強く、若い方にも重症化を引き起こすとのデータがあります。また、軽症だった若年層の方の過半数が、嗅覚や味覚の障がい、疲労感、記憶障がいなどの長引く症状(いわゆる後遺症)に苦しんでいるのが現状です。

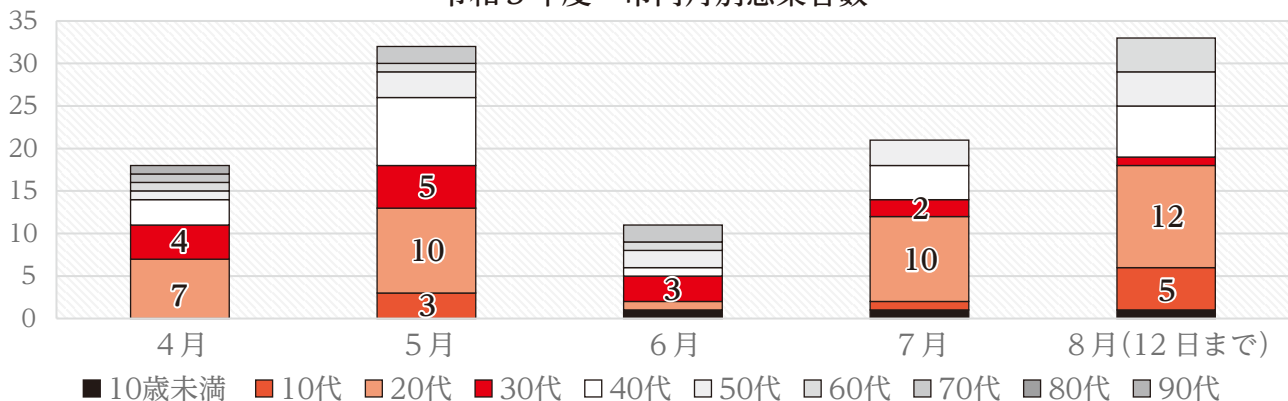
新型コロナウイルスの根絶は難しい中、免疫がない場合、いずれはウイルスに感染してしまうことを想定しなくてはなりません。

ワクチンの効果と副反応

臨床試験でワクチンには高い有効性が確認されました。免疫ができることで、感染や発症の確率を大きく減らしたり、仮に感染して発症しても症状の出る期間が短くなったり、重症化を防いだりする効果も期待できることがわかっています。ワクチンを接種すると、確かに倦怠感や発熱などの副反応が生じますが、ワクチンに対する免疫応答の結果です。ほとんどの方の副反応は、数日で自然と収まります。

新型コロナウイルス感染症にかかって後遺症に悩まされる可能性は、ワクチン接種によって軽減できます。既に9割以上の方がワクチン接種済である65歳以上の高齢者の方は、感染者の割合が下がっていることが、下野市の感染状況(下グラフ)からもわかります。

令和3年度 市内月別感染者数



新型コロナウイルスワクチンQ&A よくある疑問を解決!

Q1. ワクチンは効くの?

ワクチンはどんな効果(発症予防・持続期間)があるの?

A. どちらのワクチンも、薬事承認前に、発症予防効果を確認するための臨床試験や、2回目接種後6か月の追跡調査が海外で実施されています。

	発症予防効果	2回目接種後6か月間の持続効果
ファイザー	約95%	91.3%
武田/モデルナ	約94%	90%以上

Q2. ワクチンは大丈夫?

mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンで遺伝情報を人体に投与して、身体への影響はない?

A. mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンで注射するmRNAは、短期間(数分から数日)で分解されていきます。人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるわけではありません。

Q3. ワクチンで不妊になるといふのは本当?

A. ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。ワクチン接種によって流産率は上がっておらず、妊娠しにくくなるという事実も確認されていません。

体調に不安があるときの受診相談

■発熱等の症状があるときは

- ①まずは、かかりつけ医など、最寄りの医療機関に電話相談
- ②かかりつけ医に連絡できない場合は、受診・ワクチン相談センター(コールセンター)に相談

栃木県

受診・ワクチン相談センター

☎0570(052)092

※土日・祝日含め、24時間対応。